

製品名: ラミン A/C (5D12) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03677**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB, ICC/IF |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW: 74 kDa; Observed MW: 63,74 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------------|
| 遺伝子名 | LMNA |
| 別名 | LMNA; LMN1; Prelamin-A/C |
| 遺伝子 ID | 4000 |
| SwissProt ID | P02545 |
| 免疫原 | ヒトラミン A/C の合成ペプチド |

背景

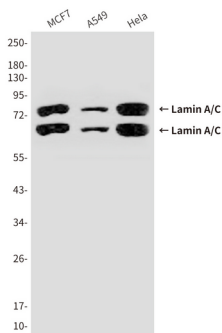
ラミンは、核膜の核質側にある繊維状の層である核ラミナの構成要素であり、核膜の骨格を形成し、クロマチンと相互作用すると考えられています。哺乳類のラミナには、ラミン A とラミン C が同量存在します。ラミン A とラミン C は、核の組み立て、クロマチン

の組織化、核膜およびテロメアの動態において重要な役割を果たします。プレラミン A/C は平滑筋細胞の老化を促進する可能性があります。プレラミン A/C は血管平滑筋細胞 (VSMC) の有糸分裂を阻害し、DNA 損傷を誘導することで、有糸分裂不全、ゲノム不安定性、および早期老化を引き起こします。

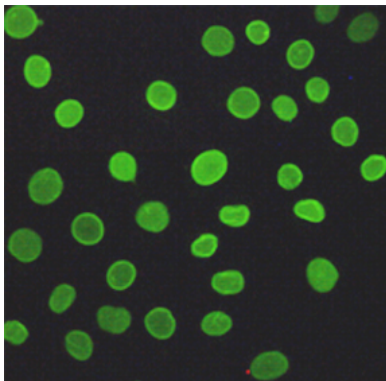
研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



ラミン A/C 抗体を使用した、MCF-7、A549、および HeLa 溶解物中のラミン A/C のウェスタンプロット分析。



ラミン A/C 抗体を用いた A549 のラミン A/C (5D12) の免疫蛍光分析。